



(左)ゲームの説明をする徳永さん(右)あなたならどうしますか？

阪神淡路大震災の体験から考案

災害対応のジレンマを伝承するゲーム「クロスロード」

5月17日、ミナテラスで災害対応シミュレーションゲーム「クロスロード」が行われました。

これは、町ボランティア連絡協議会(吉村静代代表)の研修の一環として、長洲町の消防士でもある熊本クロスロード研究会徳永伸介代表を招いて行われたものです。

クロスロードとは、カードを用いた防災教材で、正解が無い選択に自分の考えを示すと共に、参加者同士で意見交換を行い進めていくゲームです。参加者たちは、真剣に話し合い、さまざまな価値観を共有していました。

「大きくゆっくり」泳いで命を守る

津森小で熊本YMCAによる特別水泳授業

津森小で6月21日、公益財団法人熊本YMCAによる「みんな泳げる 25歳運動」特別水泳授業が開かれました。

今年で7回目となるこの授業は、大きくゆっくりとした泳ぎ方を身に付けることで、水難事故を未然に防ぐことを目的としています。YMCAの専門スタッフ2人が、3年生以上の児童約60人に、クロールや平泳ぎを丁寧に指導しました。終了後の感想で、ある児童は「ちょっとうまくなったと思う」と話しました。



熊本YMCAスタッフの指導を受ける児童



県内のオリンピック聖火リレールート概要

4年に1度のスポーツの祭典

東京2020オリンピック聖火リレーが益城町へ

東京2020オリンピック聖火リレーが、益城町で実施されることが発表されました。オリンピック聖火リレーが益城町で実施されるのは初めてとなります。

オリンピック聖火リレーは、振り替え休日の令和2年5月6日(水)に県南の5市をリレーし、翌5月7日(木)に益城町をスタートし、県央・県北の8市町村を巡ります。

オリンピック聖火リレーの具体的なルートは、今年の年末ごろに発表される予定です。

東京2020オリンピック聖火リレー ランナー募集！

県内で2日間にわたってオリンピック聖火をつなぐランナーについては、東京2020聖火リレー熊本県実行委員会により募集が行われます。募集人数は30～35人程度で、応募期間は7月1日(月)～8月31日(土)までです。応募方法など、詳しくは下記へお問い合わせください。

問東京2020聖火リレー熊本県実行委員会 ランナー応募窓口 ☎0120-4-2020-4 ☎0120-4-2020-9